



社会福祉法人 <sup>群馬</sup> 済生会支部埼玉県済生会栗橋病院			
文書名	院内感染防止対策マニュアル K-8：エボラ出血熱		
文書番号	感対-共手-K 疾患別予防策 8-001-170901	ページ	2 / 14

## K-8：エボラ出血熱

### エボラ出血熱疑似症患者 連絡時の対応

#### 発熱患者の相談

#### I .流行地域の滞在歴確認（過去1ヶ月）

- ①ギニア      ②リベリア      ③シエラレオネ

該当（疑似症患者）

該当なし

自宅待機を要請（氏名・連絡先を聴取）

通常診療

下記へ連絡

- ①感染対策委員長（PHS86144・外線 84144）  
 感染対策専従看護師（PHS86708・外線 84708）  
 ②幸手保健所 42-1101  
 ※夜間・休日（検疫所）  
 ・03-3599-1511（東京）  
 ・0476-34-2310（成田）

特定・第1種感染症指定医療機関へ移送

社会福祉法人 <sup>群馬</sup> 済生会支部埼玉県済生会栗橋病院			
文書名	院内感染防止対策マニュアル K-8：エボラ出血熱		
文書番号	感対-共手-K 疾患別予防策 8-001-170901	ページ	3 / 14

エボラ出血熱疑似症患者 来院時の対応

発熱患者の来院

I. 流行地域の滞在歴確認（過去1ヶ月）

- ①ギニア      ②リベリア      ③シエラレオネ

該当（疑似症患者）

該当なし

通常診療

<収容不要>

- ・自宅待機を要請

氏名・連絡先を聴取

<収容必要>

- ①感染症診察室へ  
ただちに誘導
  - ②防護具を着用し対応  
(2人体制で着用)
- ※採血等の処置は  
行わない

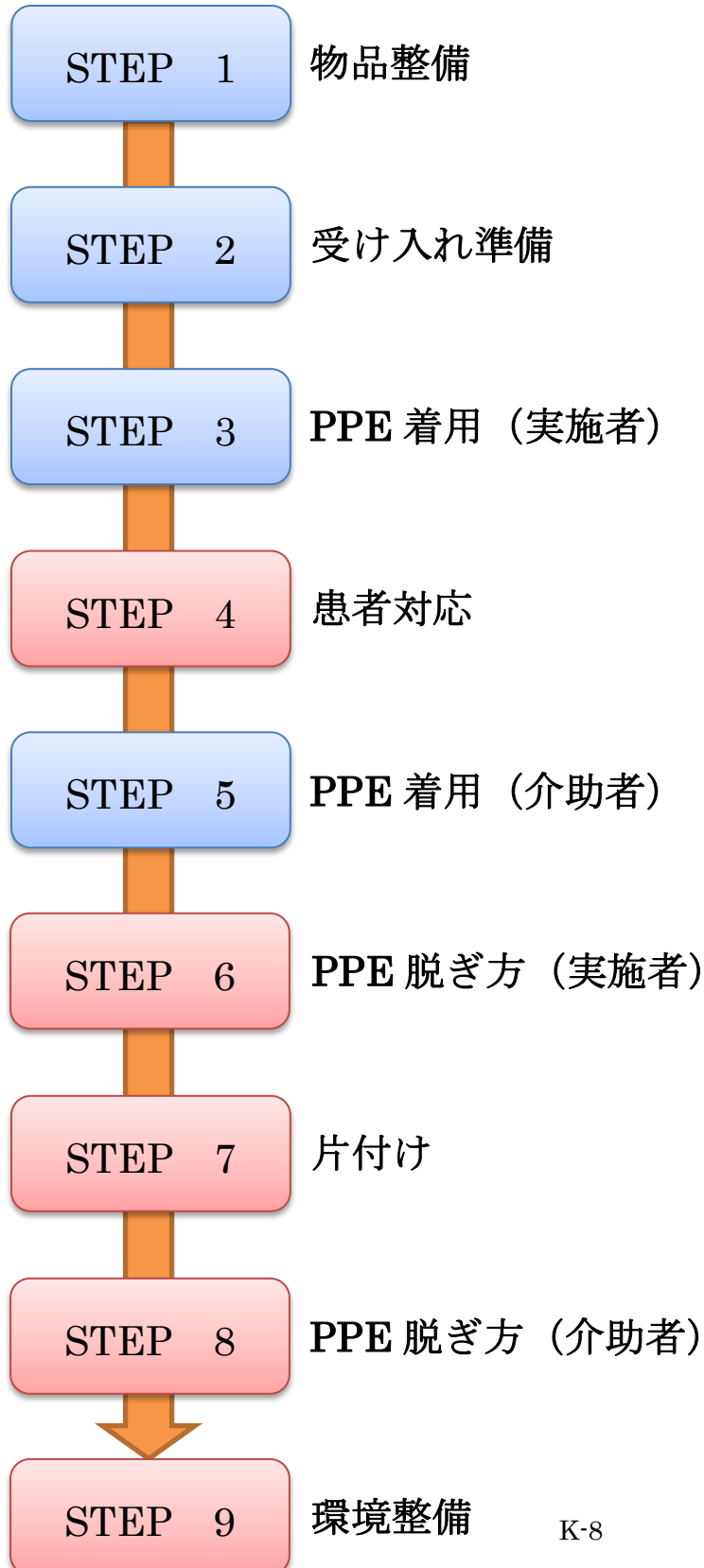
下記へ連絡

- ①感染対策委員長（PHS86144・外線 84144）  
感染対策専従看護師（PHS86708・外線 84708）
- ②幸手保健所 42-1101  
※夜間・休日（検疫所）  
・03-3599-1511（東京）  
・0476-34-2310（成田）

特定・第1種感染症指定医療機関へ移送

2014年11月25日作成

エボラウイルス疾患対応 STEP フロー



2014年11月25日作成

## STEP 1

### エボラウイルス疾患対応 物品整備 (FULL PPE キット)

#### <必要物品Ⅰ 実施者>

- ①手術着・靴下
- ②つなぎスーツ (タイベック)
- ③足カバー
- ④ビニールブーツ
- ⑤N95 レスピレーター (興研)
- ⑥ゴーグル
- ⑦曇り止め (ゴーグル用)
- ⑧インナー手袋
- ⑨伸縮テープ 4枚
- ⑩ディスポガウン
- ⑪フェイスシールド
- ⑫アウター手袋

#### <必要物品Ⅱ 介助者>

- ①手術着・靴下
- ②ディスポガウン
- ③足カバー
- ④N95 レスピレーター (興研)
- ⑤ゴーグル
- ⑥曇り止め (ゴーグル用)
- ⑦インナー手袋
- ⑧伸縮テープ 2枚
- ⑨フェイスシールド
- ⑩アウター手袋

社会福祉法人 <sup>群馬</sup> 済生会支部埼玉県済生会栗橋病院			
文書名	院内感染防止対策マニュアル K-8：エボラ出血熱		
文書番号	感対-共手-K 疾患別予防策 8-001-170901	ページ	6 / 14

<必要物品Ⅲ 廃棄・環境準備>

- ①手指消毒薬
- ②防水シート 3枚 (A・B・C)
- ③ガムテープ
- ④感染性廃棄ボックス (50L プラ) A
- ⑤ビニール袋 A (70L)
- ⑥感染性廃棄ボックス (50L プラ) B
- ⑦ビニール袋 B (70L)
- ⑧エコ消エタ 500ml
- ⑨ハイゼガーゼ 30枚
- ⑩ビニール袋 C (70L)
- ⑪ビニール袋 D (小) 3枚

社会福祉法人 <sup>群馬</sup> 済生会支部埼玉県済生会栗橋病院			
文書名	院内感染防止対策マニュアル K-8：エボラ出血熱		
文書番号	感対-共手-K 疾患別予防策 8-001-170901	ページ	7 / 14

2014年11月25日作成

## STEP 2

### エボラウイルス疾患対応 感染症診察室の受け入れ準備

<患者受け入れ準備>

- ①感染症診察室の電気、空調を ON にする
  - ※L.感染症診察室運用規定を参照
- ②「FULL PPE キット」を準備（感染症診察室前室に配備）
- ③防水シート A を感染症処置室に敷き、ガムテープで止める
- ④防水シート B・C を前室に敷き、ガムテープで止める
- ⑤感染性廃棄ボックス A にビニール袋 A を被せ、防水シート A の上に置く
- ⑥感染性廃棄ボックス B にビニール袋 B を被せ、防水シート B の上に置く
- ⑦ハイゼガーゼとエコ消エタで消毒ガーゼを作成し、ビニール袋 B に 10 枚ずつ分ける
- ⑧ビニール袋 B を、廃棄ボックス A・廃棄ボックス B・前室に置く
- ⑨感染症診察室の電話をビニール袋 C で覆い、輪ゴムで止める

社会福祉法人 <sup>群馬</sup> 済生会支部埼玉県済生会栗橋病院			
文書名	院内感染防止対策マニュアル K-8：エボラ出血熱		
文書番号	感対-共手-K 疾患別予防策 8-001-170901	ページ	8 / 14

2014年11月25日作成

## STEP 3

### エボラウイルス疾患対応 PPE 着用（実施者）

<PPE 着用（実施者）>

- ①手術着・靴下に替え、前室入室
- ②靴を脱ぐ
- ③手指衛生
- ④つなぎスーツのチャックを首元まで締める
- ⑤足カバーを着ける
- ⑥ビニールブーツを着用（足カバーの紐をブーツに収める）
- ⑦N95 レスピレーターを着用
- ⑧ユーザーシールチェックを実施
- ⑨ゴーグルを着用
- ⑩ゴーグルのゆるみを調節
- ⑪つなぎスーツで頭部を覆う（露出部位を最小限にし、髪が出ないようにペアで確認）
- ⑫つなぎスーツのチャックを完全に締め、テープを貼り付ける（介助者が実施）
- ⑬手指衛生
- ⑭インナー手袋を着用（手袋はスーツの外側を覆うこと）
- ⑮輪ゴムで手袋を止める
- ⑯ディスポガウンを着用（腰ひもは横で結ぶ・介助者に背中を覆ってもらう）
- ⑰フェイスシールドを頭部に着用
- ⑱アウター手袋を着用
- ⑲輪ゴムで手袋を止める
- ⑳介助者によるチェック（付け忘れがないか、露出部位がないか）



2014年11月25日作成

**STEP 4**

エボラウイルス疾患対応 患者対応

- ・ 診察、処置は、PPE を着用した実施者が行う
- ・ 院内との連絡は、感染症診察室の電話を使用する
- ・ 保健所等、外部との連絡は感染対策委員長または感染対策専従看護師が行う

社会福祉法人 <sup>群馬</sup> 済生会支部埼玉県済生会栗橋病院			
文書名	院内感染防止対策マニュアル K-8：エボラ出血熱		
文書番号	感対-共手-K 疾患別予防策 8-001-170901	ページ	10 / 14

2014年11月25日作成

## STEP 5

### エボラウイルス疾患対応 PPE 着用（介助者）

※実施者が PPE を脱ぐ際に、介助者は PPE を着用する

<PPE 着用（介助者）>

- ①手術着・靴下に替え、前室入室
- ②手指衛生
- ④足カバーを着ける
- ⑥ディスポガウンを着用（腰ひもは横で結ぶ・介助者に背中を覆ってもらう）
- ⑦N95 レスピレーターを着用
- ⑧ユーザーシールチェックを実施
- ⑨ゴーグルを着用
- ⑩ゴーグルのゆるみを調節
- ⑬手指衛生
- ⑭インナー手袋を着用（手袋はスーツの外側を覆うこと）
- ⑮輪ゴムで手袋を止める
- ⑰フェイスシールドを頭部に着用
- ⑱アウター手袋を着用
- ⑲輪ゴムで手袋を止める
- ⑳介助者によるチェック（付け忘れがないか、露出部位がないか）

社会福祉法人 <sup>群馬</sup> 済生会支部埼玉県済生会栗橋病院			
文書名	院内感染防止対策マニュアル K-8：エボラ出血熱		
文書番号	感対-共手-K 疾患別予防策 8-001-170901	ページ	11 / 14

2014年11月25日作成

## STEP 6

### エボラウイルス疾患対応 PPE 脱ぎ方（実施者）

<PPE 脱ぎ方①処置室（廃棄ボックス A に破棄）>

- ①院内担当者に電話をし、前室にスタンバイを依頼（介助者は PPE を着用）
- ②エコ消エタ含有ハイゼガーゼでアウター手袋を消毒
- ③フェイスシールドのバンド部分を持って取り外す（前面に触れないこと）
- ④ディスポガウンの腰ひもを外して、ガウンの外側を持ち引きはがす（前面に触れないこと）
- ⑤アウター手袋もガウンと一緒に脱いで破棄する
- ⑥前室に声をかけ、ドアを開けてもらう
- ⑦介助者からエコ消エタ含有ハイゼガーゼを受け取り、インナー手袋を消毒する
- ⑧診察室内でブーツを脱ぎ捨て、汚染されていない足カバーの状態の前室に移動する  
（ブーツは後ほど処理する）

<脱ぎ方②前室（廃棄ボックス B に破棄）>

- ⑨首元のみ両面テープを剥がす
- ⑩介助者がチャックを〇〇まで下ろす
- ⑪介助者が靴ひもを外す
- ⑫汚染された全面に触れないように、裏返ししながら脱ぐ
- ⑬インナー手袋・つなぎスーツ・足カバーと一緒に脱いで破棄
- ⑭手指消毒
- ⑮ゴーグルの前面に触れずに外して破棄
- ⑯マスクの前面に触れずに外して破棄
- ⑰手指消毒

社会福祉法人 <sup>群馬</sup> 済生会支部埼玉県済生会栗橋病院			
文書名	院内感染防止対策マニュアル K-8：エボラ出血熱		
文書番号	感対-共手-K 疾患別予防策 8-001-170901	ページ	12 / 14

2014年11月25日作成

## STEP 7

### エボラウイルス疾患対応 感染症診察室の片付け

#### <環境整備①処置室>

- ①脱ぎ捨てたブーツを防水シート A に丸める
- ②防水シート A を廃棄ボックス A に破棄してフタをする

#### <環境整備②前室>

- ①脱いだ PPE を防水シート B に丸める
- ②防水シート A・B を廃棄ボックス A に破棄

2014年11月25日作成

**STEP 8**

エボラウイルス疾患対応 PPE 脱ぎ方 (介助者)

<介助者 PPE の脱ぎ方>

- ①足カバーを外す
- ②アウター手袋を外す
- ③インナー手袋をエコ消エタ含有ハイゼガーゼで消毒
- ④ディスポガウンの腰ひもを外して、ガウンの外側を持ち引きはがす（前面に触れないこと）
- ⑤インナー手袋・ディスポガウンを一緒に脱いで破棄
- ⑥手指消毒
- ⑦ゴーグルの前面に触れずに外して破棄
- ⑧マスクの前面に触れずに外して破棄
- ⑨手指消毒

社会福祉法人 <sup>群馬</sup> 済生会支部埼玉県済生会栗橋病院			
文書名	院内感染防止対策マニュアル K-8：エボラ出血熱		
文書番号	感対-共手-K 疾患別予防策 8-001-170901	ページ	14 / 14

2014年11月25日作成

## STEP 9

### エボラウイルス疾患対応 使用後の環境整備

<PPE 着用（介助者）>

- ①STEP 5を参照

<環境整備>

- ①1時間以上換気、放置する
- ②廃棄ボックス 50L を感染症処置室に配置
- ②使用場所の清拭・消毒  
除菌クロス → アルコール消毒
- ③据付電話の清拭・消毒  
除菌クロス → アルコール消毒

<PPE 脱ぎ方（介助者）>

- ①STEP 8を参照